

(活動報告書様式)

団体名	特定非営利活動法人エコ・リンクやまがた		
事業名	庄内浜から発信！豊かな海を守る海洋プログラムの作成と実践事業		
助成事業区分	協働助成事業（テーマ希望型） 【テーマ：山形から発信！未来へつなぐ循環型社会づくり支援事業】		
団体の 所在市町村	山形市	事業費	1,052,964 円
		うち助成金額	1,000,000 円



■事業目的

・「海離れ」、「魚離れ」、「人離れ」が庄内浜においても大きな課題となっており海浜環境の保全意識が薄らいできている。

・庄内浜の豊かな海洋資源やそれを維持する自然環境を次世代に引き継ぐために(a)地域を支える人材の育成(b)情報の発信(c)交流と連携の促進(d)安全安心・楽しい浜辺づくり(e)食産業・食文化の継承と創造といった課題解決のための活動が求められている。

・これら解決活動を子供たちに対する海洋教育という動線にとらえ、(a)海に親しむ(b)知る(c)集う(d)学ぶ(e)守る(f)興すといった保全意識を啓発・醸成させるための海洋教育プログラムを作成しその実践活動を行う。また、このプログラムを山

形県内だけでなく「庄内浜発！」として全国に向けて発信していく。

■実施内容

① 海洋プログラムの作成と検証、発信

・山形県海洋教育研究会（事務局：県立加茂水産高校）および NPO 法人パートナーシップの監修のもとプログラム作りを行った。

・庄内浜における、海に親しみ知るための海洋教育、海を守るためのクリーンナップ、海を興すための料理教室等を体系化した。

・プログラムは5種類作成し、関係機関に配布した。
(a)海のはなし(b)海洋プラスチックごみのはなし(c)魚のはなし(d)森川里海のはなし(e)船のはなし

②海洋教育プログラムの実践

・県内 23 の NPO が集うプラットフォーム組織ドリ

ムやまがた里山プロジェクト構成員および庄内浜文化伝道師協会の協力を得て、県立山辺高校において食文化と海洋教育をテーマに庄内浜の魚を使った料理教室を実施した。この内容はNHK ニュースでも取り上げられた。

・参加対象は県立山辺高校食物科生徒約 40 人、開催場所は県立山辺高校調理室、開催日は 12 月 5 日

■事業の成果及び今後の展望

・庄内浜が抱える地域課題を海洋教育の動線に取り組むことで、豊かな海を次世代に引き継ぐ道筋が構築できた(SDGs④)の質の高い教育をみんなに)

・薄れつつある海浜環境の保全の意識啓発・醸成の機会が図られた。(SDGs⑭海の豊かさを守ろう)

・実践活動を地域ぐるみで協働することで、海と親しむため多くの人が交流する機会となり得た。(SDGs⑰パートナーシップで目標を達成しよう)

・今後、「森・川・里・海」交流・連携ができる「農山漁村体験・教育プログラム」に発展させていきたい。